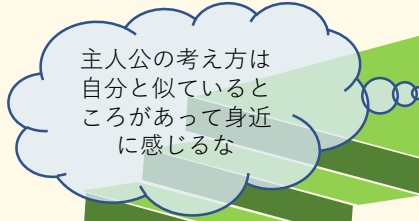
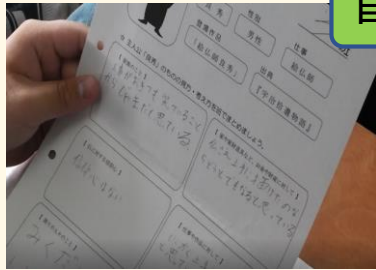


国語総合において、人物像に着目して古典文学に親しみをもてる生徒の育成
 - キャラクター分析表の作成活動を通して -

特別研修員 国語 清田 多恵子（高等学校教諭）

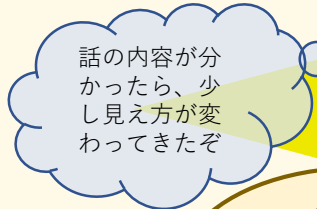
目指す生徒像：人物像に着目して古典文学に親しみをもてる生徒



主人公の考え方は自分と似ているところがあって身近に感じるな



Step 3
登場人物の価値観を考える

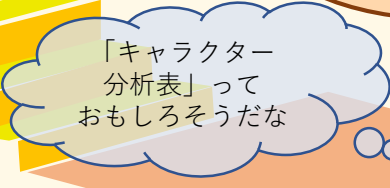


話の内容が分かったら、少し見え方が変わってきたぞ

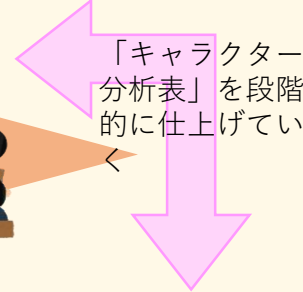
Step 2
現代語訳を行い、登場人物の言動や思考に着目する



Step 1
初読の段階で主人公の人物像を探る



「キャラクター分析表」っておもしろそうだな



「キャラクター分析表」を段階的に仕上げていく

生徒の課題：古典文学に親しみを感じられない

成果

- 登場人物を一人の人間として意識することで、生徒は自分との共通点や相違点を探し出していた。人物像に着目して理解することで、作品に親しみをもつことができた。
- 「キャラクター分析表」を段階的に仕上げていく作業行程が、生徒自身に自分の学習過程を可視化させるため、生徒は「授業で分かったこと」を客観的に知ることができた。

課題

△「キャラクター分析表」の五つの項目は、初読の段階において、人物像を考える上で手助けになるようにと教師が考えたものである。登場人物の価値観を考える時には生徒たち自身で項目を考えた方が、人物像についてより深く考えられた。

キャラクター分析表の作成

キャラクター分析表 _____ 班

	名前	性別	仕事
	良 秀	男性	絵仏師
	登場作品	出典	
	「絵仏師良秀」	『宇治拾遺物語』	

☆ 主人公「良秀」のものの見方・考え方を班でまとめましょう。

<p>【家族のこと】</p> <p>家族のことを大切にしている</p> <ul style="list-style-type: none"> 燃えている家に置き去りにしている 妻は服も着ていない！ 家族のことを大切にしている 	<p>【家や家財道具など、お金や財産に対して】</p> <ul style="list-style-type: none"> 家が燃えているのを笑うほど気にしていない
<p>【仏に対する信仰心】</p> <p>「絵仏師」という職業を選んでいるから信仰心はある</p> <ul style="list-style-type: none"> 仏さえ上手に描いたら依頼が来て家がいくらでも建つ。→金儲けの手段 	<p>【仕事や作品に対して】</p> <ul style="list-style-type: none"> 燃えている家に置いたから執着はない 家が燃えている様を見て炎の描き方の参考になっている。

本文から読み取ったことを記入させる

Step 1 に訂正がある場合は見え消しにし、授業で新たに分かったことを追記させる

【周りの人々のこと】

- 才能がないと罵罵にしている。
- 見下している。

★ ランキングをつけてみよう

1位	お金
2位	作品
3位	人々
4位	家族
5位	仏

五つの項目に優先順位を付けて、一人の人間としての価値観を探らせる